青灯社　新刊案内

（ジャンル）政治・国際関係

2022年10月30日 発売予定

中国 超新星爆発とその行方

朱 建榮　著

今、民主化すれば国家崩壊、内戦を招く。
「伝統の中国」から「世界の中国」へ、どう脱皮するか。

◇ 急速、全面的、大スケールで、全世界にインパクトを与える中国の台頭。
　その実態と行方を、過去・現在・未来の幅広い分野から検証する意欲作！
◆ 「時代が生んだストロングマン」習近平・国家主席の評価は国内でも二分。
　反腐敗などこれまでの成果と、この先５年の「新時代の大改革」の成果を注視せよ。
◇ 新疆をめぐる問題について、先進国側の先入観とその実態を比較する。
◆ 中国の台湾侵攻は当面考えられない。国内の経済成長が優先されるから。
◇ 分裂か、民主化か、「社会主義現代化強国」か？　超新星爆発後の中国の可能性を考える。
◆ 米中二大惑星に直面する日本。二者択一ではなく、ミドルパワーとしての役割への期待。
◇ 「過去」を引きずる中国の対日観と、「未来」への恐れが先走りする日本の対中観。
　バイアスにとらわれず、活気あるアジアの発展をリードする日中協力への道を探そう。
◆ 日中双方を知る著者が伝える、過渡期の大国・等身大の姿。

四六判・並製／420ページ
定価：2500円＋税

«目次»

序文 ウクライナ戦争と中国の試練
第一章 「超新星爆発」が進行中の中国
第二章　核融合の仕組み――中国パワーの形成
第三章　習近平時代――未知への新しい長征
第四章　反腐敗闘争――「荒治療」背後の危機感
第五章　マグマと溶岩流――中国社会の深層を覗く
第六章 「第四次産業革命をキャッチせよ」
　――目標牽引型の中国経済
第七章　二つの巨大惑星の衝突――米中摩擦の行方
第八章　中国外交の再検証――現行秩序内の「現状変更国家」
第九章 「必殺技」戦略――旧ソ連の教訓を汲んだ軍事力整備
第十章　鳴くまで待とう――中国の台湾統一戦略
第十一章　香港と新疆――「国民国家」に脱皮する陣痛
第十二章　2050年の中国――「現代化強国」でもカオスでもない
第十三章　日中関係――「座標軸」の漂流と迫られる「再選択」

著者：朱 建榮（しゅ・けんえい）
東洋学園大学教授。1957年上海市生まれ。華東師範大学卒業。学習院大学大学院で政治学博士号を取得。学習院大学・東京大学・早稲田大学非常勤講師、米国ジョージ・ワシントン大学客員研究員、英国ロンドン大学東洋アフリカ学院客員研究員を経る。
著書『毛沢東の朝鮮戦争』（岩波書店、アジア・太平洋賞受賞）『毛沢東のベトナム戦争』（東京大学出版会）『江沢民の中国』（中公新書）ほか

青 灯 社　営業（担当・辻）　FAX: 03-5368-6943　TEL 03-5368-6550
取次：トーハン、日版、楽天BN、八木書店、JRC、新日本図書　eメール info@seitosha-p.co.jp

（書店印）　冊

朱 建榮　著

中国 超新星爆発とその行方

ＩＳＢＮ 978-4-86228-123-4 C0031　定価 2500円＋税